

総務経済常任委員会会議記録（概要）

令和5年1月16日（月）

開 会（午後1時30分）

【議 事】

○特定事件「行政経営について」及び「農業・商業・工業について」

所沢ブランド、シティプロモーションについて

亀山委員長

特定事件「行政経営について」及び「農業・商業・工業について」のうち「所沢ブランド、シティプロモーションについて」を議題とします。

当委員会では、これまで所沢ブランド、シティプロモーションについて、執行部に対する審査のほか、先進都市として埼玉県深谷市及び寄居町、また、三重県桑名市、愛知県春日井市及び静岡県富士市への行政視察の実施、自由討議などを実施してきました。

11月に開催いたしました政策討論会では、東海大学の河井教授による「シティプロモーションによる地域経済活性化」の基調講演をはじめ、討論会では、議員間の闊達な意見交換により、認識の確認と共有が図られ、これにより課題や今後の展望などが見えてきました。

本日は、これまでの委員会の調査、研究を踏まえ、提言案をまとめたいと思います。

提言案をまとめるに当たり、今後の進行を確認するため、委員会を休憩し、協議会を開催したいと考えますが、これに御異議ありませんか。

(委員了承)

休 憩 (午後 1 時 3 1 分)

(休憩中に協議会を開催)

再 開 (午後 1 時 5 0 分)

亀山委員長

再開します。これまでの委員会等における皆様からの御意見と、政策討論会で確認できた事項を踏まえ、正副委員長で提言案をまとめました。お手元に配付させていただいた正副委員長案について、御意見はありますか。

(意見なし)

亀山委員長

それでは、提言を読み上げます。委員会として、

【提 言】

所沢ブランドとシティプロモーションに係る提言

総務経済常任委員会

総務経済常任委員会では、「所沢ブランドとシティプロモーション」を重点的に取り組むべきテーマとして位置づけ、これまで先進自治体への行

政視察や議員間による自由討議を行ってきた。また、委員間の意見の醸成を図ることを目的に政策討論会を開催してきた。所沢市の魅力、ブランドとは何か、どのような形で市内外へ発信し、いかに人を呼び込み、地域経済を活性化させるのか、ということに重点を置き、調査、研究を行ってきた。

現在のコロナ禍において、物価の高騰や急激な円安は、国民生活だけでなく中小企業や小規模事業者などにも深刻な影響を及ぼしている。

本市においても、感染症対策と経済活動の両立を図りながら、地域経済の活性化を図っていくことは喫緊の課題である。

第6次所沢市総合計画前期基本計画では、特に重点を置いて進める取組であるリーディングプロジェクトにおいても、「所沢ブランドの推進とまちの活性化」が位置づけられている。当委員会では、本市のブランド力を向上させ、地域経済の活性化のための持続可能な施策の推進に向けて、これまでの調査研究を踏まえ、下記のとおり提言する。

記

- 1 地域製品のブランド化を推進するため、消費者のニーズに応じた農産物の生産や6次産業化による特産品の開発により、農産物に新たな付加価値を生み出し、地域農産物の消費拡大、地産地消を図ること。
- 2 関係部署が横断的に企画及び政策立案できるよう、行政組織においてシティプロモーション政策室を創設すること。
- 3 職員意識の底上げを行うため、シティプロモーションに関する研修を

実施すること。

4 地域内における経済循環の向上と地域課題の解決に貢献するため、地域通貨の導入について検討すること。

5 市民が参画できる環境や市外の協力者も参加する機会を創出し、地域間の連携を強化すること。

以上

この提言を3月定例会の常任委員長報告の中で行うことでよろしいですか。

(委員了承)

亀山委員長

御異議なしと認め、そのように決定しました。

それでは、来る3月定例会において常任委員長報告を行うこととなりますので、よろしくお願ひします。

以上をもって、特定事件「行政経営について」及び「農業・商業・工業について」のうち、「所沢ブランド、シティプロモーションについて」は、審査を終結することよろしいですか。

(委員了承)

亀山委員長

御異議なしと認め、そのように決定しました。

それでは、これをもちまして本日の審査を終了します。

散 会 (午後1時56分)